

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	TOEIC730点突破 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学 科 名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	選択必須	2	TOEIC730点突破 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学 年	1年生	担当教員	阿部/皆川	3	TOEIC730点突破 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科 目 名	English Strategy TOEIC730突破	時間数	170単位時間	4	TOEIC730点突破 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	TOEIC730点突破 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading 問題集3、TOEICテスト究極の模試600問			6	TOEIC730点突破 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材				7	TOEIC730点突破 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	TOEIC730点突破 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				9	TOEIC730点突破 Part7 読解問題	リーディング力の向上
科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで700点、11月のTOEIC公開テストで800点をを目指す				10	TOEIC730点突破 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEICテストミニ模試 P184～191	総合的な得点力の向上
				12	TOEICテストミニ模試 P192～190	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
授業の進め方・学習方法・課題				14	TOEICテスト公式問題集 P38～41 DUO section1～3	総合的な得点力の向上
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。				15	TOEICテスト公式問題集 P42～45 DUO section4～7	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 P51～54 DUO section8～10	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 P55～58 DUO section11～13	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 P59～62 DUO section14～17	総合的な得点力の向上
				19	TOEIC直前テスト勉強	公開テスト対策
				20	TOEICテスト公式問題集 P63～66 DUO section18～20	総合的な得点力の向上
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 P67～70 DUO section21～23	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	TOEICテスト公式問題集 P71～74 DUO section24～27	総合的な得点力の向上
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	TOEICテスト公式問題集 P75～78 DUO section28～30	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 P79～82 DUO section31～33	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 P83～P86 DUO section34～37	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 P87～90 DUO section38～40	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 P91～94 DUO section41～43	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC直前テスト勉強	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 P95～98、DUO section44～45	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 P99～102	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 P103～106	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 P107～110	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 P111～114	総合的な得点力の向上
				34	TOEICテストまとめ	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 人物の動作表現	5月TOEIC受験対策
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	選択必須	2	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 物に関する描写	5月TOEIC受験対策
学年	1年生	担当教員	阿部/皆川	3	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 疑問詞を使った疑問文	5月TOEIC受験対策
科目名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	170単位時間	4	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 依頼・提案・申し出	5月TOEIC受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週1～週4までの復習	5月TOEIC受験対策
使用テキスト名	TOEICテスト公式問題集/TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)/DUO			6	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 店・ホテルなどでの会話	7月TOEIC受験対策
補助教材				7	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 電話での会話	7月TOEIC受験対策
				8	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) オフィスでの会話	7月TOEIC受験対策
科目概要と科目到達目標				9	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週6～週8までの復習	7月TOEIC受験対策
TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				10	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 留守電メッセージ	7月TOEIC受験対策
				11	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) アナウンス・広告・ニュース	7月TOEIC受験対策
				12	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週1～週11までの総復習	7月TOEIC受験対策
				13	TOEICテスト公式問題集 P38～41 DUO section1～3	11月TOEIC受験対策
				14	TOEICテスト公式問題集 P42～45 DUO section4～7	11月TOEIC受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOEICテスト公式問題集 P51～54 DUO section8～10	11月TOEIC受験対策
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。				16	TOEICテスト公式問題集 P55～58 DUO section11～13	11月TOEIC受験対策
繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。				17	TOEICテスト公式問題集 P59～62 DUO section14～17	11月TOEIC受験対策
ミニテストによる学習進捗状況の確認。				18	TOEIC直前テスト勉強	11月TOEIC受験対策
				19	TOEICテスト公式問題集 P63～66 DUO section18～20	11月TOEIC受験対策
				20	TOEICテスト公式問題集 P67～70 DUO section21～23	11月TOEIC受験対策
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 P71～74 DUO section24～27	11月TOEIC受験対策
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	TOEICテスト公式問題集 P75～78 DUO section28～30	11月TOEIC受験対策
【成績評価基準】				23	TOEICテスト公式問題集 P79～82 DUO section31～33	1月TOEIC受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	TOEICテスト公式問題集 P83～P86 DUO section34～37	1月TOEIC受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	TOEICテスト公式問題集 P87～90 DUO section38～40	1月TOEIC受験対策
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	TOEICテスト公式問題集 P91～94 DUO section41～43	1月TOEIC受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	TOEIC直前テスト勉強	1月TOEIC受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	TOEICテスト公式問題集 P95～98、DUO section44～45	3月TOEIC受験対策
				29	TOEICテスト公式問題集 P99～102	3月TOEIC受験対策
				30	TOEICテスト公式問題集 P103～106	3月TOEIC受験対策
				31	TOEICテスト公式問題集 P107～110	3月TOEIC受験対策
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 P111～114	3月TOEIC受験対策
				33	TOEICテスト公式問題集 P115～117	3月TOEIC受験対策
				34	TOEICテストまとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	6月受験対策
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	選択必須	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	6月受験対策
学年	1年生	担当教員	坂上/小林/寺田	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	6月受験対策
科目名	English Strategy 英検2級	時間数	170単位時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	6月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	2級過去問題集2015年第2回 解答解説 リスニング30問	6月受験対策
使用テキスト名	2022年度版 英検2級過去問題集 出る順で最短合格単熟語EX			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	6月受験対策
補助教材				7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2017年第2回長文解説	6月受験対策
科目概要と科目到達目標				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2015年第3回解答	10月受験対策
				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2016年第1回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 ○対面授業と遠隔授業の併用実施				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156 解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
				1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	6月受験対策				
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	選択必須	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	6月受験対策				
学年	1年生	担当教員	坂上/小林/寺田	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	6月受験対策				
科目名	English Strategy 英検準2級	時間数	170単位時間	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	6月受験対策				
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	6月受験対策				
使用テキスト名	2022年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	6月受験対策				
補助教材	英検準2級総合対策			7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	6月受験対策				
科目概要と科目到達目標				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策				
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策				
				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策				
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策				
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策				
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策				
				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策				
				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策				
授業の進め方・学習方法・課題				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策				
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策				
				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策				
				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策				
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策				
				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策				
評価方法・成績評価基準				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策				
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策				
				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策				
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策				
				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策				
				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策				
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策				
				29	英検準2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策				
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策				
				31	英検準2級対策P146～156 解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策				
				実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
								33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
								34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	1	何故メイクが必要か？メイクの必要性について	何故メイクをするのか？ 授業進度について 評価方法
学年	1年生	担当教員	加藤広美	2	自己紹介 ・メイクについて絡ませながらの自己紹介	自分にとってのメイクとは？
科目名	Image Making I	時間数	68単位時間	3	自分流のメイク	自分流のメイクとは何？身だしなみの違いについて
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	普段のメイクと仕事メイクの違いについて	ビジネスメイクとは？
使用テキスト名				5	航空業界のメイクについて ・国内線と外資系 客室乗務員メイク	業界によってのメイク使いが違うことを知ろう
補助教材	エアステージ			6	顔立ちからのメイク方法	人それぞれの骨格によってメイクが変わる
科目概要と科目到達目標				7	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
				8	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
				9	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
航空業界への就職先に伴い、航空業界用のメイク指導から自分でMakingできる技術を学ぶ ⇒第一印象であったり、老若男女に好かれるメイク方法を学ぶ				10	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ
				11	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ
				12	顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ
				13	顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ
				14	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ
				15	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				16	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ
講師の先生より、毎回モデルになってもらう学生を選び、それぞれの顔立ちからMakingしていくことで学んでいく ○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	基礎メイクの方法を学ぶ
				18	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	基礎メイクの方法を学ぶ
				19	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	基礎メイクの方法を学ぶ
				20	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	基礎メイクの方法を学ぶ
				21	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
評価方法・成績評価基準				22	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
				24	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
				25	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	基礎メイクの方法を学ぶ
				26	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	基礎メイクの方法を学ぶ
				27	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ
				28	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ
				29	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ
				30	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 鼻	基礎メイクの方法を学ぶ
				31	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 鼻	基礎メイクの方法を学ぶ
				実務経験教員の経歴		
様々な企業への研修などを実施しており、プロのメイクアップアーティストである。ビジネスマナー用のメイクから、各航空会社へのメイクやヘアアップも担当 実務経験36年				33	顔立ちからのメイク方法 ・IMAGE MAKING	航空業界用のメイクとは
				34	顔立ちからのメイク方法 ・IMAGE MAKING	航空業界用のメイクとは

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	授業の進め方・授業内容・成績評価方法・基準	今後の授業の進め方。勉強の進め方のポイント
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	47都道府県テスト・白地図を埋める	一般常識の確認
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	47都道府県テスト・県庁所在地を埋める	一般常識の確認
科目名	地理Information I	時間数	34単位時間	4	都道府県別にみた国内観光資源・北海道・青森・岩手・宮城・秋田	都道府県の観光地・資源の知識&習得
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	都道府県別にみた国内観光資源・北海道・青森・岩手・宮城・秋田	都道府県の観光地・資源の知識&習得
使用テキスト名	旅にでたくなる日本地図			6	都道府県別にみた国内観光資源・北海道・青森・岩手・宮城・秋田	都道府県の観光地・資源の知識&習得
補助教材	旅行業務実務シリーズ 国内観光地理 パワーポイント			7	都道府県別にみた国内観光資源・山形・福島・茨城・栃木	都道府県の観光地・資源の知識&習得
科目概要と科目到達目標				8	都道府県別にみた国内観光資源・山形・福島・茨城・栃木	都道府県の観光地・資源の知識&習得
就職先のひとつとして、空港内にあるインフォメーションカウンターに対応できる案内知識を学ぶ。 インバウンドのお客様が多くなっている中で、日本の観光地などを広く情報として案内できるように国内観光地理を学び、お客様へ提供する。 旅行地理検定(国内)試験の取得を目指す				9	都道府県別にみた国内観光資源・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・(伊豆)	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				10	都道府県別にみた国内観光資源・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・(伊豆)	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				11	都道府県別にみた国内観光資源・新潟・富山・石川・福井・山梨	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				12	都道府県別にみた国内観光資源・新潟・富山・石川・福井・山梨	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				13	都道府県別にみた国内観光資源・長野・岐阜・静岡・愛知・三重	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				14	都道府県別にみた国内観光資源・長野・岐阜・静岡・愛知・三重	都道府県の観光地・資源の知識&習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	都道府県別にみた国内観光資源・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良	都道府県の観光地・資源の知識&習得
○日本の自然景観から学び、その後は47都道府県それぞれの観光地をチェックする。 それぞれの分野が終了した段階で小テストなどを重ねて知識をつけていく。 地図帳には、学んだ景観や観光地などをチェックして場所の確認をする。 ○対面授業と遠隔授業の併用実施				16	都道府県別にみた国内観光資源・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				17	都道府県別にみた国内観光資源・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				18	都道府県別にみた国内観光資源・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				19	都道府県別にみた国内観光資源・山口・徳島・香川・愛媛・高知	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				20	都道府県別にみた国内観光資源・山口・徳島・香川・愛媛・高知	都道府県の観光地・資源の知識&習得
評価方法・成績評価基準				21	都道府県別にみた国内観光資源・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分	都道府県の観光地・資源の知識&習得
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	都道府県別にみた国内観光資源・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分	都道府県の観光地・資源の知識&習得
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	都道府県別にみた国内観光資源・宮崎・鹿児島・沖縄	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				24	都道府県別にみた国内観光資源・宮崎・鹿児島・沖縄	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				25	地理小テスト	ウィークポイントの把握と確認
				26	世界遺産①	世界遺産とは?
				27	世界遺産②	世界遺産の知識と習得
				28	世界遺産③	世界遺産の知識と習得
				29	世界遺産④	世界遺産の知識と習得
				30	ツアープラン 考案	習得した知識の中でのツアープランの提案
				31	プレゼンテーション 発表①	習得した知識の中でのツアープランの提案
実務経験教員の経歴				32	プレゼンテーション 発表②	習得した知識の中でのツアープランの提案
航空会社にてグラウンドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、就航路線など観光地などの基礎的知識や観光名称など観光に関わる実務経験7年。				33	まとめ	習得した知識の確認
				34	地理テスト	習得した知識の確認

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	秘書検定とは？	何故秘書検定を学ぶのか？秘書検定2級検定の問題と試験対策
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	秘書の資質	●社会人としての意識 ●補佐役としての秘書
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	秘書の資質	●求められる人間性とセンス 組織の中の秘書
科目名	秘書検定2級対策 I	時間数	34単位時間	4	練習問題	小テスト
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	職務知識	●組織中の秘書 ●スタッフとしての秘書 ●秘書の日常業務
使用テキスト名	秘書検定2級 よく出る問題！集中レッスン			6	練習問題	小テスト
補助教材	現役審査員による集中レッスン秘書検定2・3級最短短合格 パワーポイント スライド			7	一般知識	●会社の経営 ●企業会計 ●法律
				8	一般知識	●人事・労務 ●マーケティング ●情報処理
科目概要と科目到達目標				9	一般知識	●社会常識 練習問題
秘書検定2級取得を目指す。(1年次は3級全員合格を目指す) 全般的な職務への理解、秘書業務への知識、そして技能を備えているかどうかを学ぶ。 対人関係や事務処理能力のプロとして、上司を補佐する秘書の知識を学ぶ				10	マナー・接遇	●人間関係と秘書の心得 ●敬語・接遇用語
				11	マナー・接遇	●話方・聞き方 ●少し複雑な話し方・聞き方
				12	マナー・接遇	●来客応対 心構え
				13	マナー・接遇	●受付対応
				14	マナー・接遇	●応接室への案内・お茶の出し方
授業の進め方・学習方法・課題				15	マナー・接遇	●電話対応
教材を中心に展開していく また、小テストなどを挟みながら学ぶ。				16	マナー・接遇	●交際の業務 ●弔事に伴う業務 ●贈答
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	練習問題	小テスト
				18	技能	●会議の知識 ●文書の作成
				19	技能	●ビジネス文書・社内文書・社外文書①
				20	技能	●ビジネス文書・社内文書・社外文書②
評価方法・成績評価基準				21	技能	●文書の取り扱い ・適切な郵送の選び方①
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	技能	●文書の取り扱い ・「秘」扱文書他
【成績評価基準】				23	技能	●ファイリング ・ファイリングの特徴 ・ファイルの並べ方・まとめ方
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	技能	●資料管理 ・名刺の整理 ・名刺整理の手順と注意点
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	技能	●新聞・雑誌の整理 ・切り抜きの仕方と整理の仕方
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	技能	●その他の整理 ・カタログ・パンフレットの整理
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	技能	●資料・情報の収集 ・データの入手法
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	技能	●日程管理 ・予定表の種類と特徴
				29	技能	●日程管理の原則と注意事項
				30	技能	●出張に関する秘書業務① ・出張計画 ・準備の進め方
				31	技能	●出張に関する秘書業務① ・上司の出張中の仕事 ・後の仕事
実務経験教員の経歴				32	技能	●環境の設備 ・オフィスのレイアウト ・オフィス機器と事務用品
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界でも必要ビジネスマナーなど教育担当。実務経験7年。				33	秘書検定試験2級 過去問題	テスト
				34	秘書検定試験2級 過去問題	テスト

				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名 専攻科 エアラインコース 学 年 1年生 科 目 名 PC実習 I 開講期間 通年 使用テキスト名 Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター 補助教材 Word /Excel文書処理技能認定試験 問題集 科目概要と科目到達目標 Word処理技能検定3級取得 Excel表計算処理技能認定試験3級 取得	必須・選択 必修	担当教員 今井真由美	必修	1	Chapter1 Wordの基本一(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
				2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
	時間数 68単位時間	授業形態 対面授業	対面授業	3	Chapter2 文字入力と基本操作一(新規文書の作成・日本語入力)	文字入力について
				4	文字入力と基本操作一(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
	開講期間 通年	授業形態 対面授業	対面授業	5	文字入力と基本操作一(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
				6	文字入力と基本操作一(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
	使用テキスト名 Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター	補助教材 Word /Excel文書処理技能認定試験 問題集	対面授業	7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
				8	Chapter3 文書の編集一(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
	科目概要と科目到達目標 Word処理技能検定3級取得 Excel表計算処理技能認定試験3級 取得	対面授業	対面授業	9	文書の編集一(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
				10	文書の編集一(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
	授業の進め方・学習方法・課題 Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格 3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方 など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ 対面授業と遠隔授業の併用実施	対面授業	対面授業	11	文書の編集一(禁則処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
	評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	13	Chapter4 文書の印刷一(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷一(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	15	文書の印刷一(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について	
			16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について	
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	17	Chapter5 文書の作成一(学習する内容・入力オートフォーマット/あ	文章フォーマットについて	
			18	文書の作成一(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて	
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	19	文書の作成一(箇条書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて	
			20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて	
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	21	文書の作成一(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて	
			22	文書の作成一(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて	
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて	
			24	Chapter6 表を使った文書の作成一(学習する内容・表の作成)	表の作成について	
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	25	表を使った文書の作成一(表の選択方法・表の編集)	表の作成について	
			26	表を使った文書の作成一(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について	
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について	
			28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成一(学習する内容・図形の作成)	図形や画像作成について	
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない	対面授業	対面授業	29	図形や画像を使った文書の作成一(図形の作成)②	図形や画像作成について	
			30	形や画像を使った文書の作成一(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について	
実務経験教員の経歴	対面授業	対面授業	31	形や画像を使った文書の作成一(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について	
			32	形や画像を使った文書の作成一(横書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について	
実務経験教員の経歴	対面授業	対面授業	33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について	
			34	総合学習問題・テスト		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	外資面接とは	授業内容の説明&授業態度など 評価方法基準など説明
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	自己紹介 一人ずつ発表	他者に覚えてもらえる自己紹介をできるようにする
学年	1年生	担当教員	坂上啓貴	3	外資面接と日本語面接の違い	ポイントは何か？
科目名	外資面接 I	時間数	34単位時間	4	自己紹介の作り方 ポイントなど	ポイントを学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	自己紹介 各自作成	自己分析をする
使用テキスト名	石井隆之著 面接の英語			6	英語での自己紹介 発表 ①	発表
補助教材	パワーポイント スライド			7	英語での自己紹介 発表 ②	発表
				8	長所と短所 ・作成のポイント	ポイント説明
科目概要と科目到達目標				9	長所作成①	各自作成①
エアライン・ホテル・観光業界の就職試験での英語での面接指導と就職活動に必要な書類作成。 発表を用い、自己だけでなく他者を理解し、自己啓発を図る				10	長所作成②	各自作成②
				11	長所作成③	各自作成③
				12	長所発表・レビュー	発表
				13	短所作成①	各自作成①
				14	短所作成②	各自作成②
授業の進め方・学習方法・課題				15	短所作成③	各自作成③
各業界での英語による面接事例を紹介し、日本語と英語での面接の違いを理解し、相互に活用できるポイントを教授する。				16	短所発表・レビュー	発表
				17	志望動機の書き方	ポイント説明
				18	志望動機作成①	各自作成①
				19	志望動機作成②	各自作成②
				20	志望動機作成③	各自作成③
評価方法・成績評価基準				21	志望動機発表	発表
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	志望動機発表のレビュー	自己の志望動機の分析
				23	英語での履歴書の紹介と書き方	英語と日本語の履歴書の違い
				24	英語履歴書の作成①	作り方ポイント
				25	英語履歴書の作成②	作り方ポイント
				26	英語でのESの書き方	企業研究の仕方
				27	英語ESの作成①	書き方の方法 ポイント
				28	英語ESの作成②	御礼状の書き方
				29	英語面接練習(個人)①	・試験のマナー ・面接試験対策 ・形式 ・受け答え ・圧迫面接
				30	英語面接練習(個人)②	・筆記試験対策 ・適正検査 ・一般常識 ・作文&小論文
				31	受験後の報告の仕方	・報連相について
実務経験教員の経歴				32	模擬面接 個人面接	模擬面接①
				33	模擬面接 個人面接	模擬面接②
				34	模擬面接 グループ面接	模擬面接③

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	1	Taking Phone Calls	Requests with can/ could, I'd like to				
学年	1年生	担当教員	坂上啓貴	2	Giving information	Present Simple of be, Is there/ Are there?				
科目名	航空&旅行英語 I	時間数	34時間	3	Taking room reservation	Do, Does Prepositions of time(on, at, in)				
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	Taking Restaurant bookings	Dates Adverbs pf frequency				
使用テキスト名	English for Tourism Professionals			5	Giving polite explanations	Present Simple (Be, Do, Can)				
補助教材				6	Receiving guests	Possessive adjective(my, yours, his, her)				
科目概要と科目到達目標 科目概要: サービス業で使う英会話を学び、反復練習を通して実践的な英語スキルを身に付ける。 後期では外国人講師とロールプレイを実施する。 科目到達目標: サービス業で使う生きた英語表現を身につける。				7	Serving in the bar	Requests and offers with can, could, shall?				
				8	Instructions	take, dill, pour, sequence markers(first, next)				
				9	Taking a food order	a/an				
				10	Dessert and Cheese	some, any				
				11	Talking about wine	comparisons				
				12	Dealing with requests	Offering help(I'll get you)				
				13	Describing Dishes	Present Simple Passive				
				14	Review					
				15	Assessment					
				授業の進め方・学習方法・課題 外資系のホテルで必須の英語表現を学び、実践的な練習を反復して行う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	Dealing With Complains	Past Simple
								17	Job and Work places	This/That, These/Those,Here/ There
								18	Explaining and instructing	must, have to, don't have to
								19	Taking telephone requests	need -ing
								20	Taking difficult phone calls	Past Simple(questions and short answers)
評価方法・成績評価基準 出席30%、課題30%、テスト40% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	Health and safety at work	Adjective and Adverb				
				22	Giving directions indoors	Prepositions of location and direction				
				23	Giving directions outside	Prepositions of location and direction				
				24	Facilities for the business traveller	Linking and contrasting, so, both, and, but				
				25	Offering help and advice	Present Perfect with yet, just should for advice				
				26	Dealing with problem	should + Present Perfect Passive				
				27	Paying bills	Present Continuous				
				28	Payment queries	much, many, a lot of				
				29	Applying for a job	Foamal language for Business letters				
				30	The interview	Talking about the future				
				31	Review					
実務経験教員の経歴				32	Review					
				33	Review					
				34	Assessment					

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit1A People	Introducing yourself
学 科 名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	Unit1B People	
学 年	1年生	担当教員	Mark	3	Unit2A Behavior	Greeting people and asking how they are
科 目 名	SPEAKING I	時間数	34単位時間	4	Unit2B Behavior	
開講期間	通 年	授業形態	オンライン授業	5	Unit3A Shopping	Talking about things you need
使用テキスト名	Talk A Lot Book One			6	Unit3B Shopping	
補助教材				7	Unit1～Unit3 Review(except 4)	Giving advice
科目概要と科目到達目標				8	Unit4A Vacation	
科目到達目標:外国人と基本的なコミュニケーションが取れる。				9	Unit4B Vacation	Agreeing or disagree with an opinion
				10	Unit5A Heros	
				11	Unit5B Heros	Expressing degrees of certainty
				12	Unit6A the Mind	
				13	Unit6B the Mind	
				14	Unit4～Unit6 Review	
授業の進め方・学習方法・課題				15	Unit7A City Life	Asking for and giving directions
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで発表しながら基本的な形式をマスターする				16	Unit7B City Life	
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	Unit8A All about you	Inviting and offering with Do you want
				18	Unit8B All about you	
				19	Unit9 A Change	Making and responding to requests
20	Unit9 B Change					
評価方法・成績評価基準				21	Unit7～Unit9 Review	
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Review and Test Practice	
				23	Review and Test Practice	
				24	Assessment	
				25	Unit10 A Health	Talking about health problems
				26	Unit10 B Health	
				27	Unit11 A Achievement	Offering compliments about things and abilities
				28	Unit11 B Achievement	
				29	Unit12 A At the Movies	Taking and leaving a message
				30	Unit12 B At the Movies	
				31	Unit10～Unit12 Review	
実務経験教員の経歴				32	Review and Test Practice	
				33	Review and Test Practice	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	手話って？	手話の基礎知識（目指すもの・評価・検定）自己紹介
学 科 名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	自己紹介①	指文字 ゲーム(指文字)
学 年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	自己紹介②誕生日 数字 年齢 指文字	年齢 月日 曜日
科 目 名	手話 I	時間数	34単位時間	4	自己紹介③趣味 特技その他 指文字	好きな食べ物
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	自己紹介④家族 星座 好きな色 指文字	家族 仕事 学校
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	自己紹介⑤仕事 学校 指文字	仕事 学校
補助教材	パワーポイント スライド			7	自己紹介⑥住んでるところ	市町村 都道府県
科目概要と科目到達目標				8	都道府県①	北海道～北陸地方
手話検定試験4級取得に向けた授業展開 ⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。 ⇒更にお店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				9	都道府県②	関東地方～中国地方
				10	都道府県③	山陰地方～沖縄
				11	ゲーム	手話かるた 都道府県
				12	都道府県テスト、指文字テスト、単語テスト①	小テスト
				13	都道府県テスト、指文字テスト、単語テスト②	小テスト
				14	講 義 内 容	聴覚障がい者とは 生活
授業の進め方・学習方法・課題				15	手話検定試験 模擬試験	7級
手話検定4級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。				16	手話検定試験 模擬試験	6級レベル
				17	前期テスト	テスト
				18	YES・NO疑問の表現①②	はい、いいえで答えてみる
				19	WH疑問の表現①②	疑問形の手話を学ぶ
				20	疑問・肯定・否定の表現	否定・肯定の表現の仕方を学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	代名詞としても指差しの使い方	指差の仕方について①
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	指示登録と指差し	指差の仕方について②
【成績評価基準】				23	時制表現 過去	過去の表現方法
A＝秀(100－90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	推定の表現	推定の表現方法
B＝優(89－80点) 達成目標を十分に達成している				25	伝聞の表現	伝聞の表現方法
C＝良(79－70点) 到達目標を達成している				26	意図の表現	意図の表現方法
D＝可(69－60点) 到達目標を最低限達成している				27	動詞の語形変化①	動詞の様々な変化①
E＝不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	動詞の語形変化②	動詞の様々な変化②
				29	語形変化しない動詞を使った表現	変化しない動詞の表現方法
				30	文のパリエーション①可能	パリエーション①
				31	文のパリエーション②可能	パリエーション②
実務経験教員の経歴				32	手話特有の語彙	語彙について
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で体の不自由な人に対する対応法や手話を習得し対応した実務経験あり。実務経験7年				33	後期テスト 筆記	筆記テスト①
				34	後期テスト 筆記	筆記テスト②

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	空港実務概要	CAのDVD 幹線とローカル線
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	空港コード・スリーレターコードとは？ツレターコードとは？	空港の基礎知識
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	グランドスタッフ お仕事DVD	GSとは？DVD
科目名	航空ビジネス I	時間数	34単位時間	4	客室乗務員 お仕事DVD	CAとはDVD
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	グランドハンドリング お仕事DVD	GHとはDVD
使用テキスト名	月間エアステージ			6	スリーレターコード 小テスト タイムテーブル(ANA)説明	小テスト
補助教材	ANAグランドスタッフ入門 パワーポイント スライド			7	旅客ハンドリング業務とは	様々な職種を知る
科目概要と科目到達目標				8	IATAとICAOについて	役割の違いについて
				9	航空業界の基礎知識	3レター・2レター 小テスト
○科目概要:航空業界に必要な基礎知識を始め、航空業界で働く人に必要な専門知識を学ぶ。空港ハンドリング整備・出入国・保安関連業務・機内での業務・オフィスでの業務など様々な職種に対応できる科目である。 ○科目到達目標:航空業界に必要な基礎知識と専門知識を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。				10	世界の空港ランキング	世界の空港を知る
				11	航空券について	航空運賃の種類と解説国内・国際
				12	LCCとFSAの違いについて	仕事内容と差別化
				13	アライアンスについて	様々な航空会社のアライアンス メリット&デメリット
				14	コードシェアと共同事業 英国SKYTRAX社 5スターエアラインとは？ 空港ラウンジ	共同運航について
				15	航空約款 テスト	テスト
授業の進め方・学習方法・課題				16	航空業界 専門用語① スリーレターコード小テスト	小テスト
○航空業界の基礎知識を習得するために、毎回小テストの実施。基礎固めができれば、航空約款から始まり、それぞれの航空会社などポイントをまとめて進めていく。 学習方法としては、毎回小テストなどがあるので基礎知識を理解し習得することが課題である。				17	航空業界 専門用語② スリーレターコード小テスト	小テスト
				18	国内航空約款	第1条～第9条 定義 約款とは
				19	国内航空約款	第10条～第17条 座席指定 有効期間
				20	国内航空約款	第18条～21条 変更
				21	国内航空約款	第22条～26条 取り消し 払戻
評価方法・成績評価基準				22	国内航空約款	第27条～31条 手荷物とは
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	国内航空約款	第27条～31条 保安検査
				24	国内航空約款	第32条～35条 手荷物禁止項目
				25	国内航空約款	第36条～38条 受託手荷物 愛玩動物
				26	国内航空約款	第39条～42条 超過手荷物
				27	国内航空約款	第39条～42条 従価手荷物
				28	国内航空約款	第43条～第52条 責任
				29	国内航空約款	まとめ
				30	国内航空約款	テスト
				31	航空機について知ろう！ボーイング社・エアバス社とは？	2大航空機メーカー
				32	飛行機の種類 B737・B767-200・300 B777-200・300 B787 A320 A300 A330 A380他	機種とは
実務経験教員の経歴				33	まとめ	まとめ
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、就航路線など観光地などの基礎的知識や観光名称など観光に関わる実務経験7年。				34	空港ビジネスまとめ 後期テスト	テスト

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	マナーとは？
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	身だしなみチェック	スーツの着こなし方
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	基本動作 立ち方と挨拶①	立ち方の姿勢
科目名	マナーレッスン	時間数	17単位時間	4	基本動作 立ち方と挨拶②	歪んだ姿勢
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	基本動作 お辞儀の仕方①	お辞儀の種類 それぞれの意味
使用テキスト名	ビジネスマナー			6	基本動作 お辞儀の仕方②	お辞儀の種類 それぞれの意味
補助教材	パワーポイント スライド			7	ビデオ撮影	
				8	ビデオ撮影⇒確認 チェック	
科目概要と科目到達目標				9	基本動作 入室の仕方①	入室の仕方
○科目概要:航空業界に必要なマナーと社会人としてのマナー知識を身に付ける				10	基本動作 入室の仕方②	着席の仕方
○科目到達目標:航空業界に必要なマナーと所作を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。				11	基本動作 入室の仕方③	一連の流れ
				12	ビデオ撮影	入室の一連の流れビデオ撮影
				13	ビデオ撮影⇒確認 チェック	動作チェック
				14	歩き方	
授業の進め方・学習方法・課題				15	案内の仕方①	エレベーター
○実践的にロールプレイ形式の授業とする				16	案内の仕方②	階段
				17	案内の仕方③	その他
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
航空券の予約・発券・払戻・取消、受託手荷物等、カウンター業務、ゲート業務、出発・到着業務等、グラウンドスタッフとしての全ての業務にに係わる。また、教育インストラクター、接遇インストラクターとしても活躍。実務経験7年				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	グランドスタッフの資質	どんな人柄が求められるか
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	グランドスタッフの仕事内容 GSの役割	様々な仕事を把握する 仕事の役割から仕事の重要性
学 年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	GSの1日のスケジュール	1日のスケジュールから体力勝負の仕事である
科 目 名	グランドスタッフ実習 I	時間数	17単位時間	4	GSに関わるスタッフ	個人で仕事をするのではなく、チームで動くチームワーク
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	GSに関わるスタッフ	
使用テキスト名	ANAグランドスタッフ入門			6	チェックイン前に知っておきたいこと	専門知識の把握
補助教材	エアステージ パワーポイント スライド			7	チェックイン前に知っておきたいこと	
				8	飛行機に関する基礎知識 飛行機が飛ぶ原理	専門知識の把握
科目概要と科目到達目標				9	飛行機に関する基礎知識 飛行機が飛ぶ原理	
グランドスタッフになる為の資質から始まり、仕事内容を把握する。 また、それぞれの仕事内容を項目に沿って学ぶことで専門的知識を学び身に付けることができる。 到達目標としては、翌年の就職活動に少しでも活用できるよう自分自身が働いていることをイメージし何がグランとして合っているのか把握する。				10	GSが働く部署 マナーと教養	様々なサービスに対応できるよう把握する
				11	GSが働く部署 マナーと教養	
				12	航空券と搭乗券の違い 搭乗手続きとは	座席指定について
				13	航空券と搭乗券の違い 搭乗手続きとは	
				14	アナウンス 発声練習	実際のアナウンスやってみる
授業の進め方・学習方法・課題				15	アナウンス 発声練習	実際のアナウンスやってみる
項目に沿って進めていく。学習方法としては、それぞれ知識を学びそれを実技で落としいくものとする。				16	まとめ	
				17	評価	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
航空券の予約・発券・払戻・取消、受託手荷物等、カウンター業務、ゲート業務、出発・到着業務等、グランドスタッフとしての全ての業務に係わる。また、教育インストラクター、接遇インストラクターとしても活躍。実務経験7年				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	客室乗務員の資質 客室乗務員の仕事内容	どんな人柄が求められるか
学 科 名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	CAの役割 保安要員・サービス要員	保安要員とサービス要員の役割から仕事の重要性
学 年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	CAの役割 保安要員・サービス要員	
科 目 名	客室乗務員実習 I	時間数	17単位時間	4	CAの1日 CAのフライトスケジュール	1日のスケジュールから体力勝負の仕事である
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	CAの1日 CAのフライトスケジュール	
使用テキスト名	エアステージ			6	フライト前に知っておきたいこと	専門知識の把握
補助教材	パワーポイント スライド			7	フライト前に知っておきたいこと	
				8	飛行機に関する基礎知識	専門知識の把握
科目概要と科目到達目標				9	飛行機に関する基礎知識	
客室乗務員になる為の資質から始まり、仕事内容(保安要員とサービス要員)を把握する。				10	CAが働く機内 免税の知識	様々なサービスに対応できるように機内を把握する
また、それぞれの仕事内容を項目に沿って学ぶことで専門的知識を学び身に付けることができる。				11	CAが働く機内 免税の知識	
到達目標としては、翌年の就職活動に少しでも活用できるよう自分自身が働いていることをイメージし何が客室乗				12	CAの働く場所 機内 エコノミーとビジネス・ファーストクラス	エコノミークラスとファーストクラスにサービスの違い
として合っているのか把握する。				13	CAの働く場所 機内 エコノミーとビジネス・ファーストクラス	
				14	CAのアナウンス(PA)	アナウンスとは。それぞれのアナウンスの種類
授業の進め方・学習方法・課題				15	CAのアナウンス(PA)	
項目に沿って進めていく。学習方法としては、それぞれ知識を学びそれを実技で落としいくものとする。				16	まとめ	
				17	評価	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
客室乗務員として、国内線・国際線乗務し、様々な国へフライト実績あり。また専門学校講師としての経験あり。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	面接対応とは？	授業内容の説明&授業態度など 評価方法基準など説明
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	航空業界の採用状況	現状の採用状況を知る
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	会社を選ぶ理由	ミスマッチングを防ぐ
科目名	面接対応 I	時間数	34時間	4	自己分析とは	ポイント説明
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	自己紹介の作り方 ポイントなど	ポイント説明
使用テキスト名	SUCCESS			6	自己紹介 長所・短所ポイント①	① 自己PR ・自分自身を知る ・自己分析で考える
補助教材	エアステージ パワーポイント スライド			7	自己紹介 長所・短所ポイント②	各自作成② 自己PR
				8	発表⇒ビデオ撮影	発表
科目概要と科目到達目標				9	自己紹介 前回のビデオ撮影を確認&チェック	発表チェック 客観的に自分を見る
就職試験に対応すべく面接指導と就職活動に必要な書類作成。 またプレゼンテーションも学ぶ。				10	自己PRとは？	自己紹介と自己PRとの違い
				11	自己PRの作り方 ポイントなど①	ポイント説明
				12	自己PRの作り方 ポイントなど②	ポイント説明
				13	発表⇒ビデオ撮影	発表
				14	自己PR 前回のビデオ撮影確認&チェック	発表チェック 客観的に自分を見る
授業の進め方・学習方法・課題				15	面接に必要な入室 ①	お辞儀・立ち方・座り方・歩き方①
航空業界の試験内容と進め方を紹介。また、ESが通過するための極意など航空業界に必要なポイントなどを踏ま て伝授する。課題は自己分析などプリントなどを配布し記入しながら、材料を貯めていく。				16	面接に必要な入室 ②	お辞儀・立ち方・座り方・歩き方②
				17	面接に必要な入室 ③	ビデオ撮影
				18	グループディスカッションとは？①	ディスカッションとは・やり方とは
				19	グループディスカッションとは？②	面接官はディスカッションから何を見る？
				20	グループディスカッションとは？③	様々なテーマ①実践
評価方法・成績評価基準				21	グループディスカッションとは？④	様々なテーマ②実践
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	企業研究の進め方①	情報収集 ポイント
【成績評価基準】				23	企業研究の進め方②	企業研究の方法
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	志望動機の書き方①	書き方の方法 ポイント
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	志望動機の書き方②	発表
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	エントリーシートの書き方・履歴書の書き方	書き方の方法 ポイント
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	企業訪問・企業訪問の準備・企業訪問は一次試験・お礼状	御礼状の書き方
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	受験後の報告の仕方	・報連相について
				29	WEB面接の攻略方法	Web面接の基礎知識
				30	WEB面接の攻略方法	Web面接のやり方・流れ
				31	WEB面接の攻略方法	Web面接の15のポイント
実務経験教員の経歴				32	後期 模擬面接	模擬面接①
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な人材など育成に関する実 務経験7年。				33	後期 模擬面接	模擬面接②
				34	まとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	航空業界・ANAについて
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	第1章 able 初級編 航空基礎知識	用語解説
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	3	第1章 able 初級編 航空基礎知識	ANAWebサイト 搭乗の流れ
科目名	INFINI/able講座	時間数	74単位時間	4	第2章 able 初級編 運賃	運賃の概要 国内航空券の流通と今昔
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	第2章 able 初級編 運賃	各種運賃について
使用テキスト名	INFINI able国内線講座 2022			6	第3章 able 初級編 able 端末概要	業務開始・終了 キーボード操作方法
補助教材	パワーポイント スライド			7	第4章 able 初級編 空席照会	空席照会概要 マルチ空港 PNR概要
				8	第4章 able 初級編 空席照会	お客様情報入力 座席指定 発券概要
科目概要と科目到達目標				9	第5章 able 初級編 ANA会員予約 待ち予約 乗継系予約	ANAマイレージクラブ会員
○科目概要:航空業界で必要な基礎知識を始め、航空業界で働く人に必要な専門知識を学ぶ。ANAが使用してし				10	第6章 able 初級編 変更可能な割引運賃	運賃種別の入力が必要な運賃
able端末から航空券の予約発券業務を専門的に学ぶ。				11	第6章 able 初級編 変更可能な割引運賃	幼児 ジュニアパイロット
○科目到達目標:検定資格を取得をすることで、即戦力を身に付け卒業後すぐに活躍できるよう指導				12	第7章 able 初級編 PNR検索 第8章 PNRの変更	PNRレコードローケータからの検索 マイレージからの検索他
小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。				13	第8章 able 初級編 交換発行	交換発行の概要
授業の進め方・学習方法・課題				14	第9章 able 初級編 解約 第10章 払戻し	変更可型 全解約 一部解約 払戻概要 変更可型 払戻手数料
○授業開始前は、基礎知識を習得するために、毎回小テストの実施。				15	第10章 able 初級編 払戻し	払戻概要 変更可型 払戻手数料
検定取得に向けてスキルを身に付けていく				16	検定試験 補講	検定対策授業
学習方法としては、毎回小テストなどがあるので基礎知識を理解し習得することが課題である。				17	able 初級検定試験	
				18	第1章 able 中級編 航空基礎知識	ANA Baggage Drop 重量制限
				19	第2章 able 中級編 運賃	主な運賃の詳細(変更不可型)
				20	第4章 able 中級編 空席照会	3章なし コードシェア
評価方法・成績評価基準				21	第4章 able 中級編 座席指定の概要 支払い手段	アサインの仕方・カード決済の方法
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	第5章 able 中級編 ANAカード会員	乗継系の空席照会
【成績評価基準】				23	第6章 able 中級編 変更可能な割引運賃	株主優待割引運賃 お体の不自由な旅客
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第6章 able 中級編 変更可能な割引運賃	障がい者割引運賃
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第7章 able 中級編 PNRの検索	ANAで取得した予約からの検索
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	第8章 able 中級編 PNRの変更	便の変更条件
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第9章 able 中級編 PNRの解約	解約概要
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第9章 able 中級編 一部旅客の解約 一部旅程の解約	
				29	第10章 able 中級編 払戻し	払戻の概要
				30	第10章 able 中級編 払戻し	払戻対象・場所・手数料
				31	第11章 able 中級編 キュー処理	キュー処理の概要
実務経験教員の経歴				32	検定試験 補講	検定対策授業
航空会社にてグラウンドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、就航路線など観光地などの基礎的知識や観光名称など観光に関わる実務経験7年。				33	able 初級検定試験	
				34	まとめ	感想 次年度へ向けて

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Chapter1 1. Vowel & Diphthong Lesson1	母音の発音を理解する
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	2	1. Vowel & Diphthong Lesson2	母音の発音を理解する
学年	1年生	担当教員	真島 明子	3	1. Vowel & Diphthong Lesson3	母音の発音を理解する
科目名	Pronouciation I	時間数	17単位時間	4	1. Vowel & Diphthong Lesson4	母音の発音を理解する
開講期間	後期	授業形態	オンライン・対面授業	5	1. Vowel & Diphthong Lesson5	母音の発音を理解する
使用テキスト名	Well Said Intro			6	1. Vowel & Diphthong Lesson6	母音の発音を理解する
補助教材				7	1. Vowel & Diphthong Lesson7	母音の発音を理解する
				8	1. Vowel & Diphthong Lesson8	母音の発音を理解する
科目概要と科目到達目標				9	1. Vowel & Diphthong Lesson9	母音の発音を理解する
科目概要:日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				10	1. Vowel & Diphthong Lesson10	母音の発音を理解する
科目到達目標:日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				11	2.Consonants & Semivowels Lesson11	子音の発音を理解する
				12	2.Consonants & Semivowels Lesson12	子音の発音を理解する
				13	2.Consonants & Semivowels Lesson13	子音の発音を理解する
				14	2.Consonants & Semivowels Lesson14	子音の発音を理解する
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review	
日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				16	Assessment	
				17	まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	選択必修	1	ハングル能力試験対策1	模擬問題を解く
学年	1年生	担当教員	中林・柳	2	ハングル能力試験対策2	模擬問題を解く
科目名	第二外国語(韓国語)	時間数	68単位時間	3	ハングル能力試験対策3	模擬問題を解く
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	ハングル能力試験対策4	模擬問題を解く
使用テキスト名	実用韓国語文法初級			5	ハングル能力試験対策5	模擬問題を解く
補助教材	韓国語と韓国文化基礎			6	ハングル能力試験対策6	模擬問題を解く
				7	ハングル能力試験対策7	模擬問題を解く
				8	1. あいさつ1	あいさつができる
科目概要と科目到達目標				9	1. あいさつ2	あいさつができる
科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得または5級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				10	2. 母音1	韓国語の母音を学ぶ
				11	2. 母音2	韓国語の母音を学ぶ
				12	3. 子音/濁る音1	韓国語の子音を学ぶ
				13	3. 子音/濁る音2	韓国語の子音を学ぶ
				14	4. 子音/息を強く吐く音1	韓国語の子音を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期試験	
前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるように グループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を 講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				16	ハングル能力試験対策8	模擬問題を解く
				17	ハングル能力試験対策9	模擬問題を解く
				18	ハングル能力試験対策10	模擬問題を解く
				19	ハングル能力試験対策11	模擬問題を解く
				20	ハングル能力試験対策12	模擬問題を解く
評価方法・成績評価基準				21	ハングル能力試験対策13	模擬問題を解く
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	ハングル能力試験対策14	模擬問題を解く
【成績評価基準】				23	ハングル能力試験対策15	模擬問題を解く
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	ハングル能力試験対策16	模擬問題を解く
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	ハングル能力試験対策17	模擬問題を解く
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	ハングル能力試験対策18	模擬問題を解く
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	4. 子音/息を強く吐く音2	韓国語の子音を学ぶ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	5. 合体する母音1	韓国語の母音を学ぶ
				29	5. 合体する母音2	韓国語の母音を学ぶ
				30	6. パッチム1	韓国語のパッチムについて学ぶ
				31	6. パッチム2	韓国語のパッチムについて学ぶ
実務経験教員の経歴				32	7. 自己紹介1	自己紹介ができる
				33	7. 自己紹介2	自己紹介ができる
				34	後期試験	

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	選択必修	1	第1課 我饿了。	声調の習得
学年	1年生	担当教員	富田朋美	2	第1課 我饿了。	韻母1の習得
科目名	第二外国語(中国語)	時間数	68単位時間	3	第1課 我饿了。	声母1の習得
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第1課 我饿了。	韻母2 轻声の習得
使用テキスト名	中国語への道【初級編】—近きより遠きへ— 改訂版			5	第2課 真好吃。	声母2の習得
補助教材				6	第2課 真好吃。	韻母nとngの使い分け
科目概要と科目到達目標				7	第2課 真好吃。	変調パターン1の習得
				8	第2課 真好吃。	数字の習得
科目到達目標: 中国語検定試験 準4級取得または準4級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				9	第3課 多少钱?	量詞の習得
				10	第3課 多少钱?	轻声2の習得
				11	第3課 多少钱?	変調パターン2の習得
				12	第3課 多少钱?	変調パターン3の習得
				13	決まり文句・あいさつ表現	儿化について知る
				14	第4課 我们都是学生。	A是/不是Bの使い分け
授業の進め方・学習方法・課題 前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるようにグループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				15	第4課 我们都是学生。	疑問文～吗の使い方
				16	第4課 我们都是学生。	也と都の使い分け
				17	第5課 你去哪儿?	人称代名詞の使い方
				18	第5課 你去哪儿?	述語と目的語の見分け方
				19	第5課 你去哪儿?	名前の言い方の習得
				20	第6課 你今年多大了?	名詞述語文の使い方
評価方法・成績評価基準 ①定期試験・検定合格 40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	第6課 你今年多大了?	省略疑問文の使い方
				22	第6課 你今年多大了?	月日曜日の言い方
				23	第7課 这个很好吃。	形容詞述語文の使い方
				24	第7課 这个很好吃。	比較文の使い方
				25	第7課 这个很好吃。	反復疑問文の使い方
				26	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				27	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				28	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				29	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				30	第8課 你家在哪儿?	“在”所在の使い方
実務経験教員の経歴				31	第8課 你家在哪儿?	“有”所在、所有の使い方
				32	第8課 你家在哪儿?	時点と時量の塚方
				33	期末テスト	
				34	振り返り	

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	1	貿易のしくみを知る	貿易の基本を知る
学年	1年生	担当教員	坂上啓貴	2	貿易実務とは	貿易の基本を知る
科目名	貿易実務 I	時間数	17単位時間	3	輸出者(輸出企業)	貿易の基本を知る
開講期間	後期	授業形態	対面授業	4	輸入車(輸入企業)	貿易の基本を知る
使用テキスト名	マンガでわかる貿易実務のきほん			5	船会社・航空会社・混載業者	貿易の基本を知る
補助教材				6	ドレー会社・検量機関	貿易の基本を知る
科目概要と科目到達目標 輸出・輸入について学び、就職後貿易実務を実践的に使用できるようになる。 輸出入の際に留意すべき点や航空業界で実践的に使用できる知識をつける。 最終的にINVOICE、PACKING LISTが作成できるようになる。				7	貿易条件を決める	貿易の基本を知る
				8	貿易取引にかかわる法律	貿易の基本を知る
授業の進め方・学習方法・課題 テキストに従って進めるととも、PCを用いて書類を作成していく。				9	輸送方法の選定	貿易の基本を知る
				10	航空輸送の基本と種類	貿易の基本を知る
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				11	航空運賃のしくみ	貿易の基本を知る
				12	Invoice(送り状)について	実践的知識の習得
				13	サンプルInvoice作成	実践的知識の習得
				14	Packing List作成	実践的知識の習得
				15	サンプルPacking List作成	実践的知識の習得
				16	通関手続きの基本	実践的知識の習得
				17	Air Waybillの流れ	実践的知識の習得
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事項	就職活動の心構え
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
科目名	就職実務 I	時間数	34時間	3	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
補助教材	パワーポイント スライド			6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
科目概要と科目到達目標				7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕方	立ち居振舞について
				8	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う 科目到達目標:就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、 希望先企業への内定が目標。				9	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
				10	SUCCESS P70 面接試験対策 ①面接試験の形式	面接対策
				11	個人面接 ①受験者1に対して面接官1人②受験者2に対して面接官2人	面接対策
				12	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				13	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				14	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P71 面接試験対策 ①集団面接について	集団面接で大切なこと
就職試験のための一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、 面接試験に備える。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	SUCCESS P71 面接試験対策 ①グループディスカッション	グループディスカッション
				17	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				18	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				19	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
				20	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
評価方法・成績評価基準				21	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
①一般常識テスト30%②書類作成の理解度10%③出席率50%④面接対策10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	SUCCESS P79 圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
				23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
				24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
				25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
				26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
				27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
				28	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				29	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				30	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				31	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
実務経験教員の経歴				32	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な人材など育成に関する実務経験7年。				33	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				34	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	選択必須	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
学年	1年生	担当教員	桑野 坂上 金	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
科目名	国際理解 I	時間数	68単位時間	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名	SDGs見るだけノート			6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
補助教材	SDGs探求ワークブック			7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、 「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。 また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら 世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、 どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。 後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	専攻科 エアラインコース	必須・選択	必須	1	【演習】文の内容一致選択 ①	リスニング力を向上させる
学年	1年生	担当教員	北村 裕美	2	【演習】文の内容一致選択 ②	リスニング力を向上させる
科目名	Intensive English I	時間数	34単位時間	3	【演習】音読パッセージ問題①	スピーキング力を向上させる
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	4	【演習】音読パッセージ問題②	スピーキング力を向上させる
使用テキスト名	CALLAN METHOD Student7s Book With Vocabulary Stage 1 Intensive English student work			5	短文の語句空所補充①	リーディング力を向上させる
補助教材				6	短文の語句空所補充②	リーディング力を向上させる
科目概要と科目到達目標 読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				7	会話の内容一致選択①	リスニング力を向上させる
				8	会話の内容一致選択②	リスニング力を向上させる
授業の進め方・学習方法・課題 レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う				9	イラスト問題①	スピーキング力を向上させる
				10	イラスト問題②	スピーキング力を向上させる
				11	意見・応答問題①	スピーキング力を向上させる
				12	意見応答問題②	スピーキング力を向上させる
				13	意見応答問題③	スピーキング力を向上させる
				14	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
				15	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				17	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				18	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				19	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				20	意見応答問題④	スピーキング力を向上させる
実務経験教員の経歴				21	意見応答問題⑤	スピーキング力を向上させる
				22	CALLAN METHOD Lesson 1	会話表現をマスターする
				23	CALLAN METHOD Lesson 2	会話表現をマスターする
				24	CALLAN METHOD Lesson 3	会話表現をマスターする
				25	CALLAN METHOD Lesson 4	会話表現をマスターする
				26	CALLAN METHOD Lesson 5	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				27	CALLAN METHOD Lesson 6	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				28	CALLAN METHOD Lesson 7	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				29	CALLAN METHOD Lesson 8	問題提起をする
				30	CALLAN METHOD Lesson 9	問題提起をする
				31	Revision Exercise 1	様々な状況に応じた質問に返答する
				32	Revision Exercise 2	様々な状況に応じた質問に返答する
				33	Revision Exercise 3	様々な状況に応じた質問に返答する
				34	Revision Exercise 4	様々な状況に応じた質問に返答する